

## 平成29年度大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	北海道大学	タイプ・国名	A・インド
事 業 名	持続可能な輸送システムと社会インフラ構築のための国際共同研究力育成プログラム		
海外の相手大学	インド工科大学ボンベイ校、インド工科大学マドラス校、インド工科大学ハイデラバード校		

〔評価コメント〕

本事業計画は、輸送システム、社会インフラといった両国間のニーズに着目した共同教育を目指しており、環境科学の観点を取り入れて課題解決に取り組むグローバル人材育成を推進するものである。異文化理解や言語文化にかかわる教育にも配慮し、学部から大学院に至る継続したリーダー教育プログラムとして、継続的かつ発展的な人材育成を可能にしている点が特徴的である。日本人学生との混住型宿舎を整備するなど、貴学は豊富な国際交流のインフラを保有しており、計画的な人材育成プログラムを推進する体制が整っている。学生への履修に関する配慮や英語教育の提供、教育面でのサポート体制も充実していることから、着実な事業の展開が期待できる。アジア太平洋環境大学院ネットワークなどとの連携、関連企業等によるコンソーシアムを構想するなど、事業の持続性にも配慮した計画となっている。

しかしながら、事業計画に提起されている「チームワーク型国際共同研究力」の成果指標、持続性のカギとなると思われる「日印サステナブル開発コンソーシアム」の組織構成など、計画の一部に具体性に欠ける面が見受けられる。育成する人材のキャリアパスを含めて、より緻密な計画と取り組む課題の明示が求められる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。